

近森オルソリハビリテーション病院

院長 鄭明守

当科について

2020年度は病棟体制、勤務体制には大きな異動はなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年であった。まず高知県での感染確認を受けて面会禁止の処置を導入し、その後の感染拡大で患者ご家族の病棟内立ち入り制限対応を行なった。導入当初にはご協力いただけないご家族から心ない暴言を受けることも多く、また外出、面会制限も遵守いただけなため夕方、休日に正面玄関を閉鎖せざるをえない状態となった。

経営面では受診抑制にともなう紹介患者の減少、外出、外泊制限に起因した入院期間の大幅な短縮を認め、過去には経験のない稼働率となった。

2021年度は感染対策やワクチンの普及により感染状況の改善が見込まれ、当院でもコロナ前の状況に早期に戻すべく、ワクチン接種への協力にもあわせて取り組んでいく予定である。